

実践の学習目標と指導の計画

1 実践①（個人の活動が主となる表現の実践）「感じたことを伝えたい」

(1) 学習の目標

- 身の回りの情景を表すことに関心をもち、情景に感じたことや考えたことを様々な方法を試みながら表すことに取り組もうとする。 （造形への関心・意欲・態度）
- 身の回りの情景から感じたことや想像したこと、情景を見たことから表したい「感じたこと」を見付け、自分のイメージが表れるような形や色、表し方などを考える。 （発想や構想の能力）
- 表したいイメージに合わせて、絵の具や筆、ペンやパスなど特徴を生かして使いながら、濃淡やにじみ、重なりなど、表し方を工夫する。 （創造的な技能）
- 身近な情景から感じたことや自分の作品について話したり、友人と話し合ったりしながら表現の意図や表し方の特徴を捉えたりする。 （鑑賞の能力）

(2) 指導の計画（全6時間）

	児童の活動	指導上の留意点
第一次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書や見本の絵を見て、作者がどんなことを感じて表したのかを話し合う。 ○ 校内の表したいことを感じるができる場所について話す。 ○ 校内をまわり、良いと感じた情景を見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の作者は、身近な景色からどんなことを感じ、それをどんな工夫をして表したのかを考えるよう促す。また校内ではどんなところが良いのかを想像できるよう支援する。 ・デジタルカメラを持たせて、色々な角度からものを見るように声をかける。
協働的・双方向的な学び ・デジタルカメラの映像をもとに、友達との意見のやりとりによって児童のイメージを具体化させるための話合いの場を設定する。		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教室にもどり、デジタルカメラを見ながら、見つけた「感じたこと」を伝え合い、表したいことを見付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その場所のどんな形や色をどんな風に感じたのかを伝え合うように促す。
第二次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感じたことを絵に表す。 ・強調したいものを選ぶ。 ・描画材や用紙を選ぶ。 ・表し方に見通しを立てる。 ・自分が選んだ場所へ移動し、製作する。 <div style="text-align: center;"> <p>いろいろな画材</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・表したいことに合わせて、材料や用具を選んだり、表し方を見通しを立てたりしながら活動に入るように促す。 ・様々な描画材や表現方法を紹介したり、今まで経験したことのある方法を確認したりして、表し方を選べることを伝え、様々な表現を工夫できるように促す。 ・構想が具体化しにくい児童には、その子が「感じたこと」を聞き取り、描画材の特徴や児童の考えを合わせながら相談したり、似たイメージを表している友達の工夫を紹介したりする。
協働的・双方向的な学び ・言語活動（ツイートする）を通して、双方向的に学ばせる。活動途中なので、見て思ったことや感じとことを自分の作品に取り入れようとするができる。		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製作途中の作品を廊下に掲示する。 ○ 友達の作品を見て、ツイートする（付箋に友達の良いところを書き、その作品に貼る）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示する際、表し方や材料の選び方を交流できるように配慮する。 ・友達の作品を見て、感じたことやいいなと思ったところを付箋に書き、途中の作品に貼って意見を交流できるようにする。

第三次	○ できあがった友達の作品を鑑賞する。	・友達の作品で、どこのどんな部分が気に入ったのか、どんな部分がよく伝わったのかを意識して見るように促す。(この葉っぱの緑がいろいろな色を使っていておもしろい、など)
-----	---------------------	--

2 実践②(グループで共に一つのものをつくる表現の実践)「タブレットPCを使ってアニメーションをつくろう」

(1) 学習の目標

- タブレットPCを使ってつくるアニメーションの仕組みに関心をもち、動きが連続して見える楽しさを味わう。(造形への関心・意欲・態度)
- 様々な材料からタブレットPCによるアニメーションの仕組みを使って表したいことを思い付いたり、形や色の変化、ストーリーなどを考えたりする。(発想や構想の能力)
- 見たことのある面白い動きを表現に取り入れたり、表したいことに合わせて形の変化の表し方を工夫したりする。(創造的な技能)
- 友人と作品を見合い、表現した思いや意図、表し方の特徴について話し合い、よさを感じる。(鑑賞の能力)

(2) 指導の計画(全2時間)

	児童の活動	指導上の留意点
第一次	○ 様々なアニメーションのつくり方を知る。	・いくつかのアニメーションの種類を紹介しながら、絵が動く仕組みを理解できるように支援する。
第二次	協働的・双方向的な学びのための工夫 ・グループの全ての児童が役割を果たせるように少人数に組織し、協働的に学べる場を設ける。	
	○ タブレットPCを使ってアニメーションをつくる。 ・いろいろな材料からアニメーションの動きを考える。 ・一コマずつ撮影する。 ・撮影した画像を再生しながら、作品を製作する。	・活動しやすいように少人数のグループに分ける。 ・いろいろな表現方法を選べるように、たくさんの種類の材料を用意しておく。 ・材料を触りながらアイデアを練っていく方法も、表現したいことに向けて材料を動かしていく方法も、どちらでもよいことを伝える。 ・映像を何度も再生させて、確かめながら活動するよう助言する。 ・色や形の動きの変化を楽しむように促す。
	協働的・双方向的な学びのための工夫 ・途中で他のグループの作品を鑑賞することで、さらに構想が深まるように、双方向的な学びを設定する。	
	○ 他のグループの作品を鑑賞する。 ○ アイディアをさらに練りながら、作品をつくる。 ○ できあがった作品を鑑賞し合う。	・友達のグループの作品を見て、面白いと思ったことやいいなと思ったことをメモするよう助言する。 ・ストーリー性に気づかせたり、コマの速さを調節したりしてもよいと伝える。 ・良い点を見付けながら鑑賞するように助言する。

3 実践③(独立した鑑賞の活動の実践)「エッセーを鑑賞しよう」

(1) 学習の目標

- 美術作品を見て、作品のおもしろさや不思議さを楽しみ、自分が感じたことや気付いたことを伝え合おうとする。 (造形への関心・意欲・態度)
- 美術作品をよく見て、友人と話し合いながら、作品全体の印象や細かい部分の特徴などをとらえる。 (鑑賞の能力)

(2) 指導の計画 (全1時間)

児童の活動	指導上の留意点
○ エッシャーの作品「物見の塔」を鑑賞する。	・全員が見やすいように、黒板に大きな絵を貼り、見て感じたことを自由に出させる。
協働的・双方向的な学び ・一人の児童が意見を言いつばなしにならないように、教員が対話の舵をとり、双方向的に学べるようにする。	
<ul style="list-style-type: none"> ・教員の問いに対して、作品から分かること、思ったこと、考えたことを述べる。 ・友達の意見をよく聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・形の不思議さを感じたり、色の濃淡に注目したりして、場面を想像させる。 ・はっきりと言葉に表しにくい児童の発言から、形や色などの造形的な特徴を具体化するように対話の構成を行い、児童の活動を援助する。 ・児童の発言を共感的に受け止め、対話することにより、児童の思考の広がりや深まりを促す。
協働的・双方向的な学び ・友達の意見によって、自分の思っていることを具体的な言葉にして表せるような協働的・双方向的な学びを大切にする。	
○ グループでいくつかのエッシャーの絵を鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分とは違う意見も楽しむように促す。 ・教員は小グループに入り、児童が作品のどの部分に着目し、どんなことを読み取っているかを捉え、必要に応じて助言する。 ・話しにくい児童には、教員が直接思いを聞き、他の児童に対話をつなぐように援助する。

別表1 質問紙調査における各基礎統計量(平均値)

		1回目平均	2回目平均	3回目平均
1	興味のあることは、とことん調べたい。	3.43	3.29	3.14
2	人の役に立てるようなりっぱな人間になりたい。	3.90	3.57	3.81
3	わからないことはとことん調べている。	3.24	2.86	2.86
4	自分から図工の勉強にとりくんでいる。	3.14	3.10	3.19
5	むずかしい問題にであうとよりやる気がする。	3.33	3.10	3.10
6	問題のとき方はいくつか考えることにしている。	3.38	3.00	2.95
7	ひとりで解決できることは、できるだけひとりでしている。	3.71	3.52	3.71
8	新しいことを学ぶのはおもしろいと思わない。	1.33	1.62	1.52
9	友だちに質問されても、ほとんどのことはうまく答えられる。	3.10	2.86	2.67
10	図工の授業でわからないことがあると、先生に質問できる。	3.52	3.57	3.33
11	疑問に思うことは、わかるまで調べたい。	3.24	3.10	2.90
12	自分もっている能力をじゅうぶんにはつきしたい。	3.90	3.52	3.67
13	興味のあることは調べずにはいられない。	3.38	2.90	2.86
14	みずからすすんで計画をたてて勉強している。	3.29	3.05	2.71
15	今までよりむずかしい問題にとりくむことが多い。	3.10	3.38	3.00
16	学校で勉強したことが正しいかどうか、家に帰ってもういちど考えてみる。	2.67	2.95	2.76
17	むずかしい問題にであっても、かんたんには先生や友だちの助けは求めない。	3.48	3.24	3.10
18	図工を学ぶことはおもしろいと思う。	3.81	3.86	3.81
19	図工の勉強面では友だちからたよられていると思う。	2.19	2.43	2.29
20	図工の授業でわからないことがあると、クラスの友だちにきくことができる。	3.62	3.67	3.33
21	学校で教えてくれること以外でも、いろいろなことを学びたい。	3.57	3.43	3.33
22	いろいろなことを学ぶことは楽しい。	3.67	3.62	3.62
23	学校ではおちついて図工の授業をうけている。	3.33	3.43	3.19
24	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ。	2.76	2.81	2.52
25	自分の行動や発言に自信を持っている。	2.76	2.95	2.71
26	友達に伝えたいことをうまく伝えることができる。	2.81	2.71	2.62
27	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。	3.33	3.14	3.05
28	普段の図工の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っている。	2.76	2.24	2.33
29	普段の図工の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている。	2.81	3.10	3.00
30	普段の図工の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている。	2.95	3.10	3.52
31	学校の図工の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい。	3.14	2.76	2.76
32	図工の勉強は好きだ。	3.81	3.71	3.81
33	図工の勉強は大切だ。	3.76	3.71	3.67
34	図工の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気を付けて書いている。	3.14	3.19	3.14

別表2 1回目と3回目のt検定結果

対応サンプルの統計量

	平均値1	標準偏差	平均値3	標準偏差	N	t 値	自由度	有意確率 (両側)	
q1_1	3.429	.6761	3.143	.7270	21	1.826	20	.083	*
q1_2	3.905	.3008	3.810	.5118	21	1.451	20	.162	
q1_3	3.238	.7003	2.857	.4781	21	2.961	20	.008	***
q1_4	3.143	.8536	3.190	.7496	21	-.237	20	.815	
q1_5	3.333	.9129	3.095	.8891	21	.865	20	.397	
q1_6	3.381	.7400	2.952	1.0235	21	1.910	20	.071	*
q1_7	3.714	.4629	3.714	.5606	21	0.000	20	1.000	
q1_8	3.667	.4830	3.476	.8729	21	1.000	20	.329	
q1_9	3.095	.8309	2.667	.7303	21	2.631	20	.016	**
q1_10	3.524	.7496	3.333	.7958	21	1.284	20	.214	
q1_11	3.238	.8891	2.905	.8309	21	1.503	20	.149	
q1_12	3.905	.3008	3.667	.5774	21	2.500	20	.021	**
q1_13	3.381	.9207	2.857	.7270	21	2.586	20	.018	**
q1_14	3.286	.7171	2.714	.8452	21	2.828	20	.010	**
q1_15	3.095	.7684	3.000	.9487	21	.346	20	.733	
q1_16	2.667	1.0646	2.762	.9952	21	-.357	20	.724	
q1_17	3.476	.8136	3.095	.8309	21	2.019	20	.057	
q1_18	3.810	.4024	3.810	.5118	21	0.000	20	1.000	
q1_19	2.190	.9808	2.286	.7838	21	-.525	20	.605	
q1_20	3.619	.9207	3.333	.8563	21	1.826	20	.083	*
q1_21	3.571	.7464	3.333	.8563	21	1.156	20	.261	
q1_22	3.667	.5774	3.619	.6690	21	.252	20	.803	
q1_23	3.333	.6583	3.190	.8136	21	1.142	20	.267	
q1_24	2.762	.9437	2.524	1.0779	21	1.227	20	.234	
q1_25	2.762	.8309	2.714	.8452	21	.295	20	.771	
q1_26	2.810	1.0779	2.619	1.1170	21	.810	20	.428	
q1_27	3.333	.8563	3.048	.8646	21	1.549	20	.137	
q1_28	2.762	1.3002	2.333	.9661	21	1.205	20	.242	
q1_29	2.810	1.1233	3.000	.8367	21	-.722	20	.479	
q1_30	2.952	.8047	3.524	.7496	21	-2.248	20	.036	**
q1_31	1.857	.6547	2.238	.8309	21	-1.504	20	.148	
q1_32	3.810 ^a	.5118	3.810 ^a	.5118	21				
q1_33	3.762	.5390	3.667	.5774	21	1.000	20	.329	
q1_34	3.143	.9103	3.143	.7270	21	0.000	20	1.000	

a. 差の標準誤差が 0 なので、相関係数と t は計算できません。